



御上洛東海道 -幕末のジャーナリズム-

2014年4月1日(火) - 7月6日(日)

Part 1/2014年4月1日(火)-4月27日(日)

Part 2/2014年4月29日(火・祝)-6月1日(日)

Part 3/2014年6月3日(火)-7月6日(日)



展覧会名：御上洛東海道 -幕末のジャーナリズム-

会 期：2014年4月1日(火)-7月6日(日)

Part 1 / 2014年4月1日(火)-4月27日(日)

Part 2 / 2014年4月29日(火・祝)-6月1日(日)

Part 3 / 2014年6月3日(火)-7月6日(日)

主 催：静岡市東海道広重美術館(指定管理:NPO法人ヘキサプロジェクト)

協 力：豊橋市美術博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、静岡市文化財課、

徳川家康公顕彰四百年記念事業 静岡部会事業実施本部、

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

泰平の幕末、江戸は欧米列強諸国の圧力によって開国^{じょうい}が攘夷(外国人の排斥)か^いで揺れていました。江戸幕府第十四代將軍徳川家茂公(1846~1866)は、攘夷論に固執する孝明天皇に幕府の政策である開国を言上^{いえもあ}するため、文久三年(1863)上洛^{じょうらく}します。徳川將軍家の上洛は、三代將軍家光公以来229年ぶり。総費用は百五十万両(約千五百億円)、三千人余の武装行列を従えた將軍上洛は、幕末の世を騒がせました。

今回ご紹介する『東海道名所風景』は、この歴史的な出来事を題材に描かれたことから、通称『御上洛東海道』^{ごじょうらくとうかいどう}と呼ばれました。このように、幕末期に入って題材に時事性が加えられた浮世絵版画は、庶民に対して情報の伝達媒体としての役割を果たすようになりました。本展覧会では、全163点を展示いたします。

併せて、瓦版^{かわらばん}などの幕末の世を報じた資料をご紹介します。

名所絵でありながら、報道性をも兼ね備えた『御上洛東海道』を是非お楽しみください。

◎出品作品

※ 展示内容及び出展作品は都合により変更となる場合がございます。

二代歌川広重ほか十五人の絵師 計163点

Part 1/『東海道名所風景』(通称 御上洛東海道)江戸~高師ノ浦 54点(目録1点含む)

Part 2/『東海道名所風景』(通称 御上洛東海道)由井~庄野 55点

Part 3/『東海道名所風景』(通称 御上洛東海道)亀山~京都 54点

※当館所蔵の目録1点、豊橋市美術博物館所蔵5点を含む、全163点を宿場順に三回期に分け、

Part1 Part2 Part3で作品の総入れ替えを行います。

歌川広重 計 24点

『東都名所』 18点

『絵本江戸土産』 6点

瓦版など

※Part1 Part2 Part3で作品の入れ替えを行います。

■ 大展示室作品介绍：二代歌川広重ほか十五人の絵師 作品

とうかいどうめいしよふうけい
『東海道名所風景』(通称：御上洛東海道)

『東海道名所風景』は、三代將軍家光公以来229年ぶりの徳川將軍上洛という歴史的な出来事を題材に描かれ、ほとんどの作品に武装行列が描かれることから通称『御上洛東海道』と呼ばれます。二十以上の江戸の版元による共同刊行で、梅素亭玄魚の意匠による目録も含め全百六十三枚にもぼる大揃物です。東海道とその周辺の名所だけでなく、京都市中、大坂や畿内の諸国なども取り上げているためこのような膨大な枚数になりました。美人画や役者絵で名を馳せた重鎮・三代豊国を筆頭に、二代広重、一魁斎芳年(月岡芳年)など、幕末浮世絵界の最大派閥・歌川派の絵師に加え、惺々周磨(河鍋暁斎)など十六名が筆をとりました。

[Part 1]



三代歌川豊国『東海道 日本橋』

[Part 2]



歌川芳盛『東海道 薩陀峠』

[Part 3]



二代歌川国貞『東海道名所之内 京加茂』



二代歌川広重『東海道 大師河原』



二代歌川国綱『東海道名所之内 久能山』



惺々周磨『東海道名所之内 那智ノ滝』

■ 小展示室 作品介绍

浮世絵版画、瓦版、さらには現代につながる新聞といった3種類の資料によって、ジャーナリズムの移り変わりを紹介します。

■ 関連企画 1

(公財)アダチ伝統木版画技術保存財団

浮世絵版画の実演&摺り体験ワークショップ

版元として江戸時代の技法を今に継承するアダチ伝統木版画技術保存財団による、浮世絵版画の実演と体験ワークショップ。

[日 時] 5月3日(土・祝) 午前の部/11:00 - 12:30、午後の部/14:00 - 15:30 (由比桜えびまつり当日)

[講 師] 公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団

[参加費] 無料 ※入館料別途

[定 員] 体験:各 15名(WEBサイト・お電話にて申込み/先着順 ※定員になり次第受付を終了します)



実演・体験作品 歌川広重
『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』



実演・体験の様子(2013年/由比桜えびまつり)



■ 関連企画 2

当館学芸員によるギャラリートーク

[日 時] Part1:『御上洛東海道』 4月13日(日) 13:00~13:30

Part2:『家茂公の御上洛』 5月4日(日・祝) 13:00~13:30

Part3:『幕末の報道』 6月15日(日) 13:00~13:30

[参加費] 無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

入館料：一般510円(410円)／大学生・高校生300円(240円)／中学生・小学生120円(100円)

※静岡市在住又は通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料

※身体障害手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※()は20名以上の団体料金

※消費税率の引き上げに伴う使用料の改定及び使用料の見直しに伴い、上記のとおり一部料金を改定いたします。(平成26年4月1日より適用)

主催：静岡市東海道広重美術館 (指定管理者:NPO法人 ヘキサプロジェクト)

協力：豊橋市美術館 豊橋市二川宿本陣資料館 静岡市文化財課

徳川家康公顕彰四百年記念事業 静岡部会事業実施本部

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

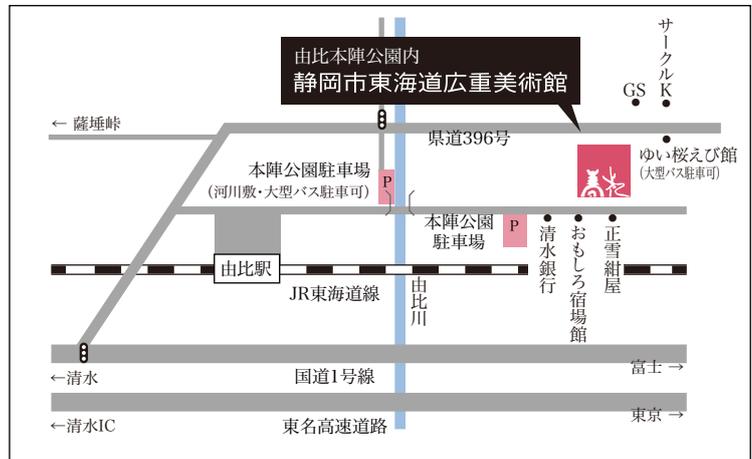
〈電車をご利用の場合〉

JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分

〈お車をご利用の場合〉

美術館駐車場 21台(由比本陣公園駐車場)

東名高速清水ICから国道1号経由約20分



本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

静岡市東海道広重美術館 Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

■ 広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記4点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。

1



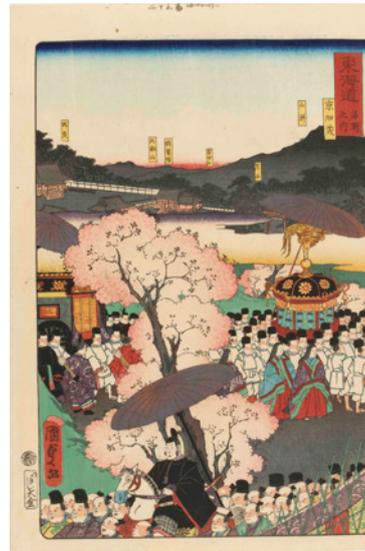
2



3



4



■ 作品名 および クレジット

1. 展覧会ポスターイメージ © Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 三代歌川豊国『東海道 日本橋』 静岡市東海道広重美術館 蔵
3. 歌川芳盛 『東海道 薩陀峠』 静岡市東海道広重美術館 蔵
4. 二代歌川国貞『東海道名所之内 京加茂』 静岡市東海道広重美術館 蔵

<使用条件>

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送り下さい。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

『御上洛東海道』～幕末のジャーナリズム～

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 三代歌川豊国 『東海道 日本橋』
3. 歌川芳盛 『東海道 薩陀峠』
4. 二代歌川国貞 『東海道名所之内 京加茂』

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

TEL :

FAX :

E-mail :

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※ 指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日(コーナー名)： 月 日

<使用条件>

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送り下さい。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp